

# プラスチック製食器を正しくお使いいただくために

## お取扱上の注意点

- (1) 電子レンジにお使いのときは以下のことについてご注意ください。
  - A. メラミン食器は電子レンジには使用できません。  
メラミン食器の耐熱温度は約120°Cですが、メラミン食器に使われているメラミン樹脂は、電子レンジの発するマイクロ波をよく吸収して発熱、急速に温度が上昇し、190°C以上にもなります。そのために、ふくれやひび、割れを生じることがあります。  
「電子レンジには使用しないでください」「電子レンジ使用不適」と明示しています。
  - B. ポリプロピレン食器、ポリカーボネイト食器は、下記の事項にご注意ください。
    - イ、加熱調理には使用しないでください。
    - ロ、空だきをしないでください。
    - ハ、電子レンジの表示及び取扱説明書を確認してから、使用してください。
    - ニ、食品の量が少ない場合は加熱時間を短くしてください。
    - ホ、水分の少ない食品の加熱は時間は短くしてください。
- (2) オープン及びグリルには使用しないでください。
- (3) 焼けこげや割れの原因になりますので、直火や電熱調理器にかけたり、火のそばに置かないでください。
- (4) ひび割れの原因になりますので、熱いうちの衝撃や、急激な温度変化を与えないでください。
- (5) 強い衝撃を与えると割れたり、欠けたりします。
- (6) 卫生的に安全にご使用いただくために、欠けたり、ひびが入ったり、洗っても取れない汚れのひどいものは使用しないでください。
- (7) ひびや割れの原因になりますので、ホットプレートや湯煎などで保温しないでください。
- (8) 割れや、表面劣化の原因になりますので、高温の食品油や薬品を入れないでください。
- (9) たわし、みがき粉でみがくと傷がつきますので使用しないでください。
- (10) 食器がごなどの金属部に強くぶれるとき、落ちない汚れがつきますのでご注意ください。

## 主なプラスチックの特徴と用途

	JIS略語	樹脂名		常用耐熱温度(°C)	酸に対して	アルカリに対して	アルコールに対して	
汎用 プラスチック	PE	ポリエチレン	低密度ポリエチレン	70～90	良	良	良	
			高密度ポリエチレン	90～110	良	良	良	
	EVAC	EVA樹脂		70～90	多少おかされるものもある	多少おかされるものもある	良	
	PP	ポリプロピレン		100～140	良	良	良	
	PVC	塩化ビニル樹脂（ポリ塩化ビニル）		60～80	良	良	良	
	PS	ポリスチレン (スチロール樹脂)	ポリスチレン	70～90	良	良	長時間入れておくと 内容物の味が変わる	
			発泡ポリスチレン	70～90	良	良		
	SAN	AS樹脂		80～100	良	良	くり返し使用すると 不透明となる	
	ABS	ABS樹脂		70～100	良	良	長時間で膨張する	
	PET	ポリエチレンテレフタレート (PET樹脂)		延伸フィルム～200	良	良	良	
				無延伸シート～60				
				耐熱ボトル～85				
	PMMA	メタクリル樹脂（アクリル樹脂）		70～90	良	良	僅かに内容物に 異臭を生じる	
	PVAL	ポリビニルアルコール		40～80	軟化又は溶解	軟化又は溶解	低ケン化は溶解	
	PVDC	塩化ビニリデン樹脂（ポリ塩化ビニリデン）		130～150	良	良	良	
	PCT	トライタン（飽和ポリエステル）		90～100	良	良	良	
エンジニアリングプラスチック	PC	ポリカーボネイト		120～130	良	多少おかされるものもある（洗剤等）	良	
	PA	ポリアミド（ナイロン）		80～140	多少おかされるものもある	良	浸透のおそれあり	
	POM	アセタール樹脂（ポリアセタール）		80～120	おかされるものもある	良	良	
	PBT	ポリブチレンテレフタレート（PBT樹脂）		60～140	良	良	良	
	PTFE	ふっ素樹脂		260	良	良	良	
熱硬化性樹脂	PF	フェノール樹脂		150	良	良	良	
	MF	メラミン樹脂		110～130	良	良	良	
	UF	ユリア樹脂		90	不变又はわずかに変化	わずかに変化する	良	
	PUR	ポリウレタン		90～130	多少おかされる	多少おかされる	良	
	EP	エポキシ樹脂		150～200	良	良	良	
	UP	不飽和ポリエスチル樹脂		130～150	良	良	良	

\*常用耐熱温度(°C)は、それぞれの樹脂の一般的な使用方法における、耐熱温度を示すものです。汎用樹脂とエンプラ、熱硬化樹脂では意味合いが異なります。  
(汎用樹脂は、短時間耐える温度、エンプラ、熱硬化樹脂では、長時間耐える温度とも言えます。)

## お取り替え時期について

プラスチック製食器には、一般的に耐用年数はありません。毎日お使いになる食器とそうでない食器など、使用条件と使用頻度によって劣化の時期は異なります。

取り替え時期は、割れ、欠けなど機能的な問題が出たとき、また、表面の光沢がなくなったり黄ばみ汚れなど美観を損ねたときとお考えください。

取り替え時期としては、適切な使用条件で、使用回数1,000回位を目安としています。これは品質保証を意味するものではなく、使用方法としては取扱のご注意に従っていただくことを条件とした上で一つの目安です。